

平成19年度

地域懇談会

市内13カ所で開催

多くのご意見やご提言をいただきました

を聴きながら会を進める形をとっています。

平成19年度は13会場で開催し、約320人の方にご参加いただきました。各地域でいただいた主なご意見や質問を紹介いたします。

■市町村合併に関連した質問

- ・合併のメリット、デメリットがわからない。市民への情報提供などもっとPRするべき。
- ・合併した所、していない所の意見を聴いてきたのか。自分の聴いた範囲では合併しない方がよかったという話をよく聴く。
- ・合併するとへき地への予算や、花火大会などがなくなるのではないかと心配だ。
- ・任意合併協議会の活動状況はどうか。

○市町村合併は、国の行財政改革として自治体の数を減少させ、地方交付税などを抑制し、行財政の効率化を進めていくのがねらいである。

合併しなければ将来的には大変厳しい。

県内で合併していない所も、今後は厳しくなると思う。市報や地域懇談会を通してPRしていく。

○任意協を通して、合併した場合、合併しなかった場合についての両市が抱える課題の洗い出しを行い、市

民に対して情報を公開していきたい。

■行財政改革について

・職員の削減については、どういう形で行っているのか。

・若い人の採用が少なく、将来に支障がでてくるのではないのか。

・姫島村のようにワークシェアリングをしたり、人件費の総枠を職員数で割って給料にするようにしたりもっと努力するべきではないのか。

○5年間で65名の職員数削減を目標に行っており、定年退職予定者だけでなく、定年前の職員もやめている。消防署や福祉専門職など必要性の高い部署は若干採用しているが、全体として採用数は抑えている。

○課の再編やグループ制を導入するなどして対応している。将来的には市民100人に1人を目指したい。



○職員の理解も得ながら昇給停止など厳しい措置を行っている。今後とも人件費を含めた行革を進めていくので、市民のご理解をお願いしたい。

■産業振興や街づくりについて

・商店街のスタンプ券を集めて公共料金の支払いにあてるシステムがある。津久見市でも検討してはどうか。

○つくつくカードを早くから導入しており、導入できる余地はあるが商業協同組合に参加していない店舗もある。今後、組合ともお話をして検討していきたい。

・街づくりについて市長はどう考えているのか。

○街づくりについてや、農業についても、当事者からの意見がなかなか出てきていない。そういう意見を言える場が必要と考えている。人づくりと地域のコミュニティ作りも必要と考えている。

また、インターから市内を結ぶ道路整備が重要と考えている。水晶山の跡地を利用して、企業誘致ができないかと考えている。

・日曜日に店を開けて商店街の活気を回復してほしい。

○各商店も経費や費用の面で難しい面もある。商店街全体として取り組むことも大事ではないか。

地域懇談会は、「人・地域・産業の元気づくり」に向けて、市民と行政が一緒に考えて考え合い、「協働によるまちづくり」へと行動していきたい。こうした思いから、市長が市民の皆さんのもとへ出向いて対話するものです。平成16年から始まり、今回で4回目になります。

懇談会では、吉本市長から「市町村合併について」、「行財政改革の取組」、「産業振興」や「街づくり」についての報告を行い、参加者からのご意見